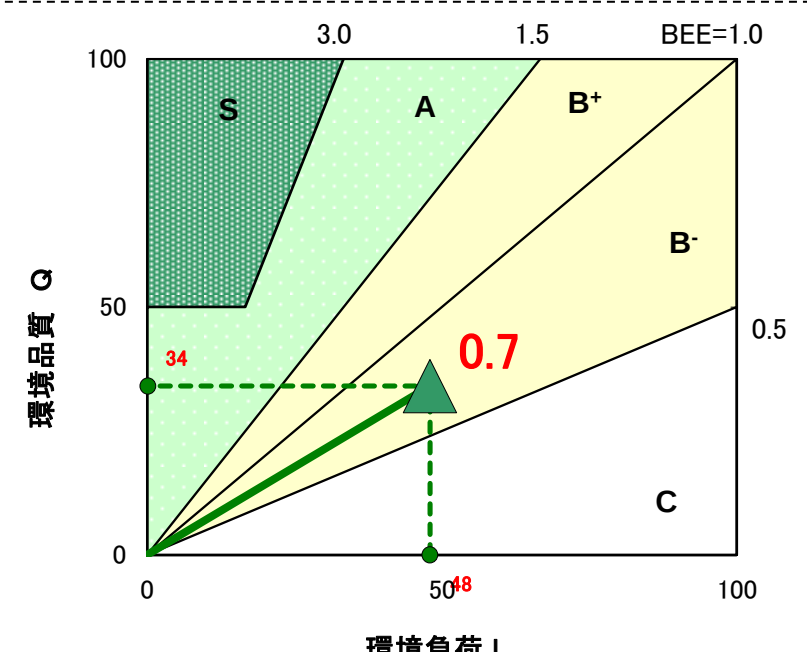


CASBEE®

熊本《新築》【性能表示】

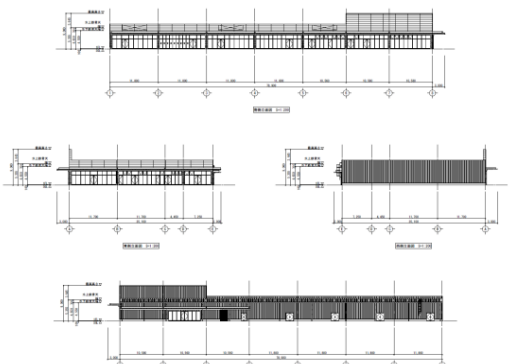
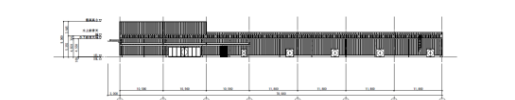
■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	イオンタウン西熊本店 新築工事	階数	地上1F	 さい。	
建設地	熊本県熊本市南区上ノ郷二丁目500	構造	S造		
用途地域	指定なし	平均居住人員	0 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	4,015 時間/年		
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2016年8月 0.0	評価の実施日	2016年3月9日		
敷地面積	8,214 m ²	作成者	山中		
建築面積	3,035 m ²	確認日			
延床面積	2,769 m ²	確認者			

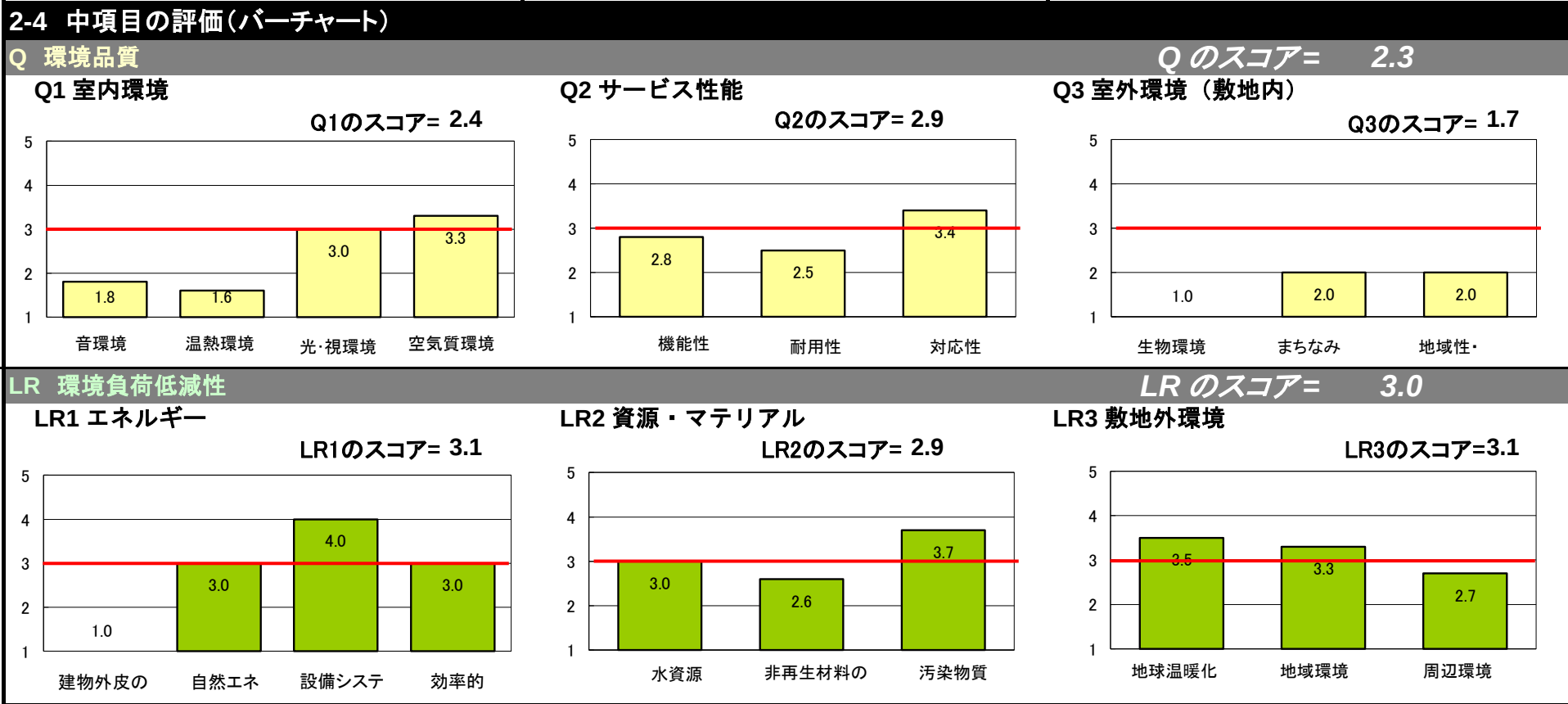
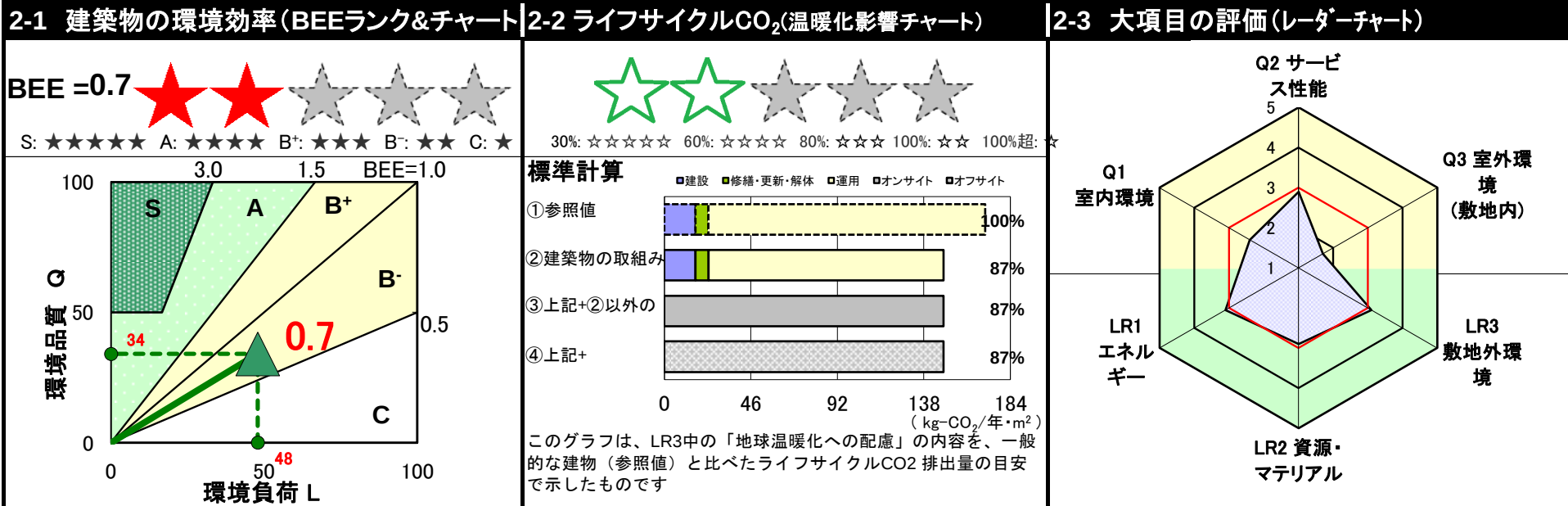
1 CASBEE評価結果																																																
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																																
★★★★★ 			BEE = 0.7 ■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$ ■環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table> ■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆
ランク	ランク表示	評価	判定値																																													
			BEE値	Q値																																												
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																												
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																												
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																												
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																												
C	★	劣る	0.5未満	—																																												
判定値(排出率)	ランク表示																																															
30%以下	☆☆☆☆☆																																															
30%超60%以下	☆☆☆☆																																															
60%超80%以下	☆☆☆																																															
80%超100%以下	☆☆																																															
100%超	☆																																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)			排出率																																													
☆☆☆☆☆			87%																																													

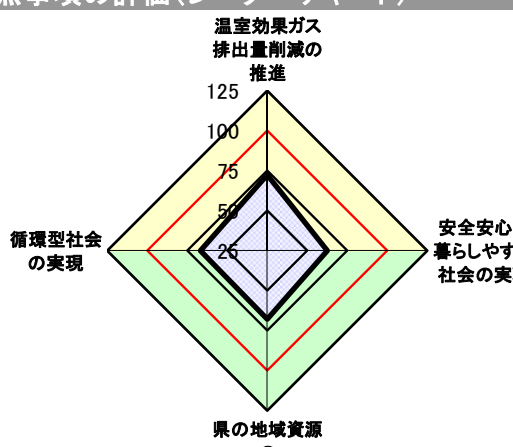
2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
熊本県重点評価基準 ☆☆☆☆☆				68
		評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進		72.5	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現		62.5	100点以上	☆☆☆☆☆
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全		67.8	80点以上100点未満	☆☆☆☆
【重点事項4】 循環型社会の実現		66.7	60点以上80点未満	☆☆☆☆
			40点以上60点未満	☆☆
			40点未満	☆
※評価点は、100点以上が推奨です。				

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	イオンタウン西熊本 新築工事	階数	地上1F		
建設地	熊本県熊本市南区上ノ郷二丁目500	構造	S造		
用途地域	指定なし	平均居住人員	0 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	4,015 時間/年		
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2016年8月 0.0	評価の実施日	2016年3月9日		
敷地面積	8,214 m ²	作成者	山中		
建築面積	3,035 m ²	確認日			
延床面積	2,769 m ²	確認者			



3 熊本県重点評価結果				重点事項の評価(レーダーチャート)	
重点事項総合評価					
評価点 = 68					
重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進					
重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現					
重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進		重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現			
評価点 = 72.5		評価点 = 62.5			
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全		重点事項4: 循環型社会の実現			
評価点 = 67.8		評価点 = 66.7			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 イオンタウン西熊本店 新築工事 専門店A棟			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)							
スコアシート 実施設計段階												
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
					評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質									2.3			
Q1 室内環境						0.40		-	2.4			
1 音環境					1.8	0.15	-	-	1.8			
1.1 騒音					3.0	0.40	-	-				
1.2 遮音					1.0	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能					1.0	1.00	3.0	-				
2 界壁遮音性能					3.0	-	3.0	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	3.0	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0	-				
1.3 吸音					1.0	0.20	3.0	-				
2 温熱環境					1.6	0.35	-	-	1.6			
2.1 室温制御					2.3	0.50	-	-				
1 室温					3.0	0.50	3.0	-				
2 外皮性能					3.0	0.17	3.0	-				
3 ゾーン別制御性					1.0	0.33	-	-				
2.2 湿度制御					1.0	0.20	3.0	-				
2.3 空調方式					1.0	0.30	3.0	-				
3 光・視環境					3.0	0.25	-	-	3.0			
3.1 昼光利用					3.0	0.50	-	-				
1 昼光率					3.0	-	3.0	-				
2 方位別開口					-	-	3.0	-				
3 昼光利用設備					3.0	1.00	3.0	-				
3.2 グレア対策					-	-	-	-				
1 昼光制御					3.0	-	3.0	-				
3.3 照度					3.0	-	3.0	-				
3.4 照明制御					3.0	0.50	3.0	-				
4 空気質環境							3.3	0.25		-	-	3.3
4.1 発生源対策					内装建材にはF☆☆☆☆建材を採用。		4.0	0.50		-	-	
1 化学汚染物質			4.0	1.00			3.0	-				
2 アスベスト対策			-	-			-	-				
4.2 換気			3.0	0.30			-	-				
1 換気量			3.0	0.50			3.0	-				
2 自然換気性能			3.0	-			3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50			3.0	-				
4.3 運用管理			2.0	0.20			-	-				
1 CO ₂ の監視			3.0	0.50			-	-				
2 喫煙の制御			1.0	0.50			-	-				
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.9			
1 機能性					2.8	0.40	-	-	2.8			
1.1 機能性・使いやすさ			売場の天井高 3.5m		3.0	0.40	-	-				
1 広さ・収納性					3.0	-	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	3.0	-				
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性					2.3	0.30	-	-				
1 広さ感・景観					4.0	0.33	3.0	-				
2 リフレッシュスペース					2.0	0.33	-	-				
3 内装計画					1.0	0.33	-	-				
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-						
3 衛生管理業務			-	-	-	-						
2 耐用性・信頼性					2.5	0.30	-	-	2.5			
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-				
1 耐震性					3.0	0.80	-	-				
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数					2.5	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数					-	-	-	-				
2 外壁仕上材の補修必要間隔					2.0	0.25	-	-				
3 主要内装仕上材の更新必要間隔					3.0	0.13	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.13	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.25	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔					2.0	0.25	-	-				

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		1.6	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		2.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり	3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	余裕のある階高	5.0	0.60	3.0	-	
	2	空間の形状・自由さ	耐力壁の無い自由度の高い空間	4.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制				1.0	0.20	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.85 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEIm = 0.85	4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
	4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	1.00	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
	LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	2.6
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	1.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	発泡系断熱材を使用せず	5.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			省エネルギー性能の高い建物とした。	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮				3.3	0.33	-	-	3.3
	2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用せず	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

建物外皮の断熱性能向上、LED照明の全面的な採用などで環境負荷削減に留意した。

Q1 室内環境

内装には、F☆☆☆☆建材を使用し、空気質環境に配慮した。

Q2 サービス性能

天井高・階高を十分にとり、耐力壁の無い自由度の高い空間とすることで、建物の更新性を高めた。

Q3 室外環境（敷地内）

周辺のまちなみ・景観を悪化させないような外観デザインとした。

LR1 エネルギー

外皮の断熱性能向上、LED照明の全面的な採用などによりエネルギー消費量の削減を図った。

LR2 資源・マテリアル

躯体と仕上材を容易に分別可能な設計とし、リサイクルの促進を図った。
また、発泡系断熱材を使用しないことで、オゾン層の保護にも配慮した。

LR3 敷地外環境

空調はEHPとし、大気汚染防止に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート		実施設計段階
建物名称	イオンタウン西熊本店 新築工事 専門店A棟	

■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル：CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		68
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				72.5	0.40	29.00
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.08			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.07			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.00			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	1.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				62.5	0.20	12.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				67.8	0.20	13.56
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.29			
LR2-1.1	節水	3.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				66.7	0.20	13.34
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.5	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。
※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数